

激動の経営

突然の社長就任

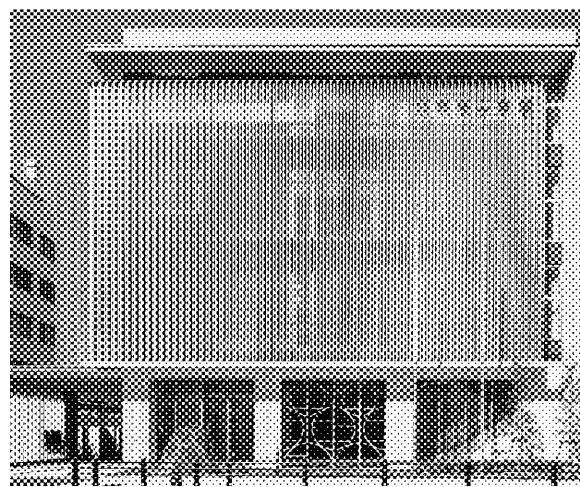
とにかくやるしかない。2021年6月。馬場公勝は前社長の急逝により、準備する間もなく新井組（兵庫県西宮市）10代目社長に抜擢され、覚悟を

新井組

①

決めた。地元の九州から飛び出し、関西を基盤とするゼネコンに入社してから36年間、土木事業を一筋にやってきた。3年間の東京支店長の経験はあったが、「経営者として会社を引っ張れるか不安」だった。しかし、現場から新井組の成長も衰退も経験してきた馬場にとって乗り越えられない壁ではなかった。

建築受注7割 自社で設計



新井組が建築工事を手がけた「西宮商工会館」

き出したが、時は新型コロナウイルス禍の真っ只中。全員がマスク姿で得意先どころか社員とも「お互いに顔と名前が一致せず、しばらく辛かった」と当時

を振り返る。

顧客満足にこたえ

新井組は地域に根差した総合建設業として建築工事や土木工事、リニューアル工事を手

地域に根差し発展支える

がける。建築事業では施工に限らず、構造や設備などの設計も自社で担う。建築受注の7割は自社設計しており、「中堅ゼネコンでは珍しく、設計段階から建築に関わることで顧客満足にこたえられる」（取締役の東郷直樹）と自負する。

元では「新井組さん」と呼ばれることが多かった。商工会館が完成した際も、「『新井組さん、ありがとう』と皆さんに言ってもらえた（馬場）。地域の発展に貢献し、地元から愛される企業の姿がここにあり。

に見舞われ、市街地や工業地帯は甚大な被害が生じた。幸いにも新井組の事務所には大きな損害はなかった。戦争終結後、新井組は道路などの土地区画整理や学校建設、企業の営業所の建築を多く請け負い、地元の戦後復興を支えた。こうして新井組の成長が始まる。

（敬称略）

西宮拠点に成長

1902年、新井桑次郎が三重県で土木建築請負業を始めたことにルーツがある。その後、兵庫県西宮市に拠点を移し、44年に株式会社新井組が設立された。

西宮市は第2次世界大戦時中に数回の空襲

▽所在地 兵庫県西宮市池田町12の20▽代表者 馬場公勝氏▽創業 1902年（明35）5月▽資本金 5億円▽従業員 357人（22年12月時点）▽売上高 227億円（22年12月期）